

2019年度
事業計画

基本方針

我が国においては急激な人口減少及び少子高齢化が進展しており、10年後の2030年には総人口が1億2,000万人を切り、3人に1人が高齢者となります。滋賀県においても2015年をピークに人口が減少局面に入ったと言われておりますが、高齢者人口は2045年まで増加します。このような環境下、認知症と医療ニーズを併せ持つ要介護高齢者の急激な増加も見込まれ、住み慣れた地域でできる限り自分らしく暮し続けられる仕組みや制度が求められています。

昨年4月の報酬改定から1年が経過し、2019年度は2021年報酬改定へ向けて本格議論が始まる時期となります。今回は、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現、制度の持続可能性を確保することに配慮し制度改正がなされました。次期制度改正に向けては、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組みつつ、2025年以降の「現役世代人口の急減」という新たな重要課題の下、医療・介護サービスの提供体制確保が大きな論点になると思われます。

施設経営者としては、自施設の介護サービスを質・量ともどのようにして維持するのか、或いは他法人施設との連携はどこまで可能か等、足元の事業を維持しながら、中長期視点で戦略を練るべき節目の年度になると予想されます。特に各施設においては人材確保がますます困難な状況になってきており、人材不足のために利用者受入を抑制、または一部事業を休止せざるを得ないケースも出てきています。

協議会としても、人材確保・育成・定着に関して重点的に取り組むとともに、地域医療介護総合確保基金が私たち現場にとって効果的に活用され、人材確保の実が上がるよう、所轄庁及び滋賀県介護・福祉人材センターとの連携をより一層強化していきます。

外国人介護人材に関して、昨年末の入管法改正により、本年4月から新たな在留資格である「特定技能」がスタート、協議会としても、優良な監理団体等の情報共有に努めます。

また、介護現場の負担軽減につながるセンサーやIoT、AI、介護ロボットなど各種テクノロジーの現場活用の検討も始めます。

当協議会では、これらの状況を見据えながら、会員相互に連携し、地域とともにある社会福祉法人として地域課題の解決と県民の福祉増進に寄与できるように以下の重点目標のもと、委員会を主体として諸事業に取り組みます。

重点目標

- 1 協議会として各施設の人材確保が促進される仕組みづくりに取り組みます。
- 2 関係諸機関と連携し、人材確保に資する取組を強化します。
- 3 協議会として次世代の福祉・介護経営を担う人材を育成します。
- 4 災害対策への取り組みを強化します。
- 5 近畿老人福祉施設協議会大会（7/18－19）の成功を目指し準備を進めるとともに、県民へも幅広い啓発と介護サービス及び施設運営の理解促進に努めます。

1. 委員会活動

○ 総務委員会

事務局と共に会議等の全体調整（正副会長会、理事会、総会等）及び規約管理、予算管理、決算などを行います。また、施設長同士の意見交換や交流の場を持つような会を企画検討します。

○ 広報委員会

ホームページ情報管理、定期情報発信、介護の新しいイメージアップに向けて各種検討・発信、県民に向けても情報を整理し発信します。

○ 人材委員会

テーマ毎に会員施設の参考となる仕組みを検討し、協議会で共有します。場合により研修会の企画開催も行います。

- ▶ 人材確保
- ▶ 人材育成・定着
- ▶ テクノロジー
- ▶ 外国人介護人材

○ 養護老人ホーム委員会

養護老人ホームの経営政策動向・課題整理等を行います。

○ ケアハウス委員会

ケアハウスの経営政策動向・課題整理等を行います。

○ 施設ケア準備委員会

サービス質の維持向上、各職種職員の相互交流を目的に意見交換や場合により研修の企画開催を行います。

- ▶ ケアマネジメント
- ▶ 介護過程
- ▶ 生活相談員
- ▶ 栄養ケアマネジメント
- ▶ 医療ケア
- ▶ リハビリテーション
- ▶ 在宅サービス職員
- ▶ 事務職（総務・経理等）

○ 研究協議大会委員会

第10回目を迎える研究協議大会の企画検討、開催をします。

○ 特別委員会

近老協研究協議会滋賀大会実行委員会、7/18～7/19に開催される当大会を取り

仕切り、開催します。

○ 次世代育成プロジェクト

中長期ビジョンの策定検討の他、経営経験の浅い 30 代～40 代の施設長増加に伴う経営や労務、財務、人事などをテーマに、この世代に特化した勉強会（若手施設長勉強会）も検討します。

委員会名	業務・摘要	研修例
総務委員会	規約管理、予算管理、決算	
広報委員会	ホームページ管理、定期情報発信 イメージアップ事業	地域貢献活動など情報発信
人材委員会	部会の全体統括	
人材確保	ターゲット別にすべき事項整理 インターンシッププログラム策定、就活フェア関連、内定辞退防止、入職まで等	
人材育成・定着	入職後の育成プログラム、成長支援とキャリアパス視覚化など	
テクノロジー	センシング機器、介護ロボットなど最新情報 動向取得、有効性検討	
外国人介護人材	スキーム整理、監理団体情報など	
養護老人ホーム委員会	養護老人ホームの経営政策動向・課題整理等	
ケアハウス委員会	ケアハウスの経営政策動向・課題整理等	
施設ケア準備委員会	質の維持向上、各職種職員の交流を目的に意見交換や研修の企画開催をする	
ケアマネジメント		
介護過程		
生活相談員		
栄養ケアマネジメント		
医療ケア		
リハビリテーション		
在宅サービス		
研究協議大会委員会	県研究協議大会	
特別委員会		
近老協研究協議会滋賀大会 実行委員会	近老協研究協議会滋賀大会実行委員会運営	2019.7.18～19 大津プリンス 1,200名規模
次世代育成プロジェクト	福祉施設経営を担う次世代育成 中長期ビジョン検討	福祉施設経営を担う 次世代育成勉強会等

2. 各ブロック（大津、南部、甲賀、東近江、湖東、湖北、高島）にて、各施設長等と役員の意見交換や交流の場として、ブロックミーティングの開催を検討する。

3. 社会福祉法人制度改正対応、滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会への参画、災害対策等については、正副会長、若しくは理事会にて担当等をその都度協議し進めるものとする。

4. 研修事業
各委員会において、必要に応じ、各種研修会を企画検討し、開催する。

5. 機関・団体等活動
県・各種職能団体が主宰する委員会・部会等へ委員として参画し、活動する。